

障がい学生支援



案内パンフレット



Doshisha, Challenged Assistance for the Right Education

Do, CARE

 DOSHISHA UNIVERSITY

2021年3月発行

障がい学生支援

障がい学生支援とは

本学に在籍する障がいのある学生（Challenged）が、他の学生と等しい条件のもとで学生生活を送れるように、授業保障、情報保障を中心に様々な支援を行っています。本学では Challenged と彼らを支援するサポートスタッフの自律的成長に着目し、その成果を再びコミュニティに還元させることを目指しています。

スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室とは

スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室（以下、支援室という）には、専属のコーディネーターが常駐しており、障がいのある学生の修学支援を行っています。具体的には、サポートスタッフによる授業保障を中心として、パソコン通訳（以下、PC 通訳とする）やノートテイク、代筆、車椅子介助、食事介助など障がいの種別や程度に応じた支援を行います。

この他、支援室では、学内諸部署、他大学及び学外団体・機関との連携、協力を進めるとともに、各種シンポジウムへの参加や学会、大会への PC 通訳派遣などの社会貢献活動も幅広く行っています。



学期末懇談会

言葉の説明

Challenged

アメリカでは、「障がいのある人」のことをChallenged（チャレンジド）と呼ぶことがあります。「神様からチャレンジという使命を与えられた人」「自分の課題に向き合う力が備わっている人」というポジティブな意味をもちます。

「障がい」

本学では文字表記を「障がい」と統一しています。

授業保障

障がいのある学生が希望するすべての授業について、他の学生と同じレベルで受講できるように保障することです。

サポートスタッフ（詳しくは P. 4 をご参照ください）
常時登録を受け付けています。

お気軽に支援室までお問い合わせください。

障がい学生の支援活動にあたる人の呼称です。本学学生を中心に一般の方も活動しています。障がい学生の希望するサポート内容に応じて、スタッフの募集・登録を行い、1 Semester ごとに活動をしています。

きくこと・見ること
筆記 / 操作や体調面で
困難がある方

聴覚障がい・視覚障がい
肢体不自由・内部障がい等

発達障がいの特性や精神疾患の
症状で困難のある方

➡ P.7へ

サポートスタッフに
興味のある方



➡ P.4へ

支 援 を 受 け る に は

4月からの大学生活を順調にスタートさせるために、まずは支援希望の旨をご連絡ください。入学決定後、支援を希望される方はなるべく早い時期のご相談をおすすめします。在学生を対象に、合理的配慮の範囲内で支援を提供します。

支援室に相談

支援を希望する学生は、あらかじめ支援室まで連絡してください。コーディネーターが相談に応じます。

登 録

障がい学生と支援室、学部・研究科事務室、関連部署との間でどのような支援が必要か協議します。

支援を利用することが決定した場合は、「利用学生登録書」の提出をもって、登録が完了となります。

※ PC 通訳などの授業に対する支援は希望されず、障がい学生対象のキャリア・就職などに関する情報提供のみ希望される場合も、登録が必要です。

入学後に支援室までお越しください。

※ 「障害者手帳」などをお持ちの方はご提示ください。

合意形成

障がい学生に対する支援内容は、大学（学部・支援室など）と本人（および保護者）が建設的な対話を踏まえ、十分な合意形成・共通理解を図ったうえで決定し、大学から提供します。

支援開始

支援活動について

障がい別に分類したもの

(オンライン授業時も内容に応じて適切に活動します)

支援活動用語 の説明

PC 通訳とは ……授業の内容やその場で起こっていることをパソコンに打ち込んで伝えること
ノートテイクとは ……授業の内容やその場で起こっていることを書いて伝えること
テキストファイル文字校正とは ……スキャナーで読み取ったテキストや資料の校正をすること
映像文字起こし・字幕付けとは ……授業で使用する映像教材の音声を文字化し、映像に字幕をつけること

聴覚障がい

PC 通訳、ノートテイク、手話通訳、音声認識ソフトの利用、映像文字起こし、字幕付け、消耗備品の支給 (ルーズリーフ、ペン)

●各種機器貸出

- 【録音機器】 IC レコーダー、テープレコーダー
- 【PC 関連】 通訳用ノートPC 一式、音声認識ソフト一式、フラッシュメモリ
- 【その他】 磁気ループ、卓上ペンライト、遠隔支援機器 (タブレット端末)



PC 通訳の様子

視覚障がい

授業資料・試験問題などのテキストファイル文字校正・拡大コピー、点訳、対面朗読、代筆、代読、ガイドヘルプ (学内移動)、授業補助、点字機器・拡大読書器などの利用、点字室・対面朗読室の利用、受講時の配慮 (教室の着席位置など)

●各種機器貸出

- 【録音機器】 IC レコーダー、テープレコーダー
- 【PC 関連】 音声認識用PC
- 【その他】 携帯型拡大読書器、携帯用点字板、高倍率ルーペ、単眼鏡、卓上蛍光灯、点字タイプライター



点字辞書

肢体不自由

代筆、車椅子介助 (学内移動)、トイレ介助、食事介助、車両の入構及び駐車許可、ストレッチ用休憩室の利用

●各種機器貸出

- 【録音機器】 IC レコーダー、テープレコーダー
- 【介助用】 手動式車椅子、ストレッチ用マット、シャワーチェアー、車椅子用机、ストップ、毛布、電動ベッド
- 【PC 関連】 入力補助器具 (スティック型、ボール型)



車椅子介助

内部障がいなど

ガイドヘルプ (学内移動)
車両の入構及び駐車許可、学内シャワールームの使用
受講時の配慮 (教室の着席位置、途中入退室の許可など)
各種機器貸出 (タブレット端末など)



身障者用駐車場

※発達障がいの特性や精神疾患の症状による、修学における困りごとについては、P.7をご参照ください。

あなたもサポートスタッフとして活動してみませんか

同志社大学には、障がい学生を支えるサポートスタッフとして活動している多くの学生がいます。あなたも、サポートスタッフとして活動してみませんか？
 支援室では、障がい学生の立場に立ち、責任をもって支援活動に取り組んでくださる方を常時募集しております。関心のある方は、いつでも支援室までお越しください。
 (支援室の場所や開室時間、HP の情報などは本誌の裏表紙をご確認ください)



このような活動をしています (一例)



障がい学生支援

PC 通訳、ノートテイク、手話通訳、映像文字起こし、字幕付け、車椅子介助、代筆、ガイドヘルプ、授業補助、対面朗読など

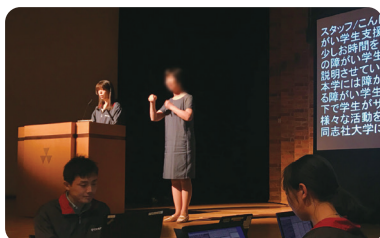
◀ガイドヘルプの様子



学生によるスキル向上勉強会などの実施

PC 通訳、ノートテイク、映像文字起こし、字幕付け、車椅子介助、代筆、点訳、テキストファイル文字校正、ガイドヘルプなどに関する入門講座、フォローアップ勉強会などの実施

◀勉強会の様子



学内イベント及び社会連携イベントの企画・実施

オリエンテーション、新入生歓迎会、学期中間・末懇談会、Challenged キャンプ、地方自治体や学外団体との共催・協力など

◀イベントの様子

障がい学生支援活動に対して謝礼が支払われます

- 支援内容によって、時間のコントロールがかわります。
- 同志社大学では、大学が責任をもって学生の皆さんの学研災（学生教育研究災害傷害保険）・学研賠（学研災付帯賠償責任保険）への加入手続きを行っておりますので、利用学生・サポートスタッフの皆さんにも安心して活動していただけます。

(※)一般スタッフの謝礼は、
 手話通訳は 1,410 円/時間
 PC 通訳は 1,081 円/時間
 それ以外は学生スタッフと同じになります。

支援活動の内訳	
支援活動の内訳	学生スタッフ謝礼
手話通訳 (※)	940 円/時間
PC通訳 (※)	
ノートテイク・代筆	
テキストファイル文字校正	
映像文字起こし・字幕付け	
点訳・資料拡大・電子データ化	
車椅子介助・食事介助	
ガイドヘルプ・対面朗読・代読	
フォローアップ勉強会等講師	

利用学生の声

私は5歳で原因不明の感音性難聴を患って以降、毎日補聴器をつけて生活をしており、普段は口話と手話で会話をしています。

現在受けている支援は対面・非対面授業におけるPC通訳、オンデマンド授業における音声の文字起こしや映像の字幕付けです。支援を受けることで、聞こえる学生と同じような環境で、情報の漏れが無い満足した授業を受けることができています。

大学では自分のことは自分でアピールしていかないと周囲からの配慮を得られないことも多く、先生やクラスメイトに障がいのことを伝えて理解してもらうことがとても大切です。これは、授業でどのような支援や配慮を受けるのかということを決める際にも非常に重要になります。

本学の障がい学生支援制度は全国のトップランナーといわれているとおり、学生スタッフが障がい学生のことを真剣に考え、積極的にサポートしてくれることが特徴だと考えています。

(聴覚障がい 政策学部1年次生) 受けているサポート内容：PC通訳、文字起こし、字幕付け

私は1歳半から全盲として生活してきたため、何かを見たという記憶がありません。そのため、本学では主に以下のようなサポートを受けています。

教室間の移動のお手伝いをお願いする移動介助、講義中に板書などを読み上げてもらう授業補助、授業に必要な資料の準備をお願いするテキストファイル文字校正などです。このようなサポートを利用することで、大学内の建物の構造を把握しやすくなり、自らが利用しやすい教材を用いて学習に集中することもできています。

大学の規模は高校と大きく異なるため、自らがやりたいことを明確化し主体的に行動する必要があります。仮に何らかのハンディキャップを抱えていたとしても、障がい学生支援制度などを利用することで、同志社大学には自らがやりたいことを実現できる環境が整っていると思います。

(視覚障がい 法学部3年次生) 受けているサポート内容：移動介助、授業補助、テキストファイル文字校正、点訳

サポートスタッフの声

私がサポートスタッフに登録したのは、入学式で会場に表示される文字通訳に驚いたことと、支援室の新歓ブースで話をきいたことで「もしかしたら自分も何かできるかもしれない」と思ったことがきっかけでした。今はPC通訳を通じて、障がいのある学生も他の学生と同じ条件で学べるように支援しています。

これまでは障がい者と関わった事はなく「支援って難しくて専門的で、きっかけも無いから」といくつもの壁を感じていましたが、スタッフに登録してみると自分にでも「無理なく」できる事があって、自分の可能な範囲で他者の助けになれることを実感しました。

支援の対象となる障がい学生さんと共に現場で経験を積むことで、新しい気づきや障がいについての理解を深めることができ、新しい繋がりやご縁も結べて、心豊かなキャンパスライフを送ることができています。

「人のためになる」ということは決して難しいことではありません。その小さな一歩を踏み出してみるかどうかがです。支援する側とされる側が共に成長していけるこの活動を誇りに思っています。

(法学部2年次生) 行っているサポート活動：PC通訳、文字起こし

私は京田辺キャンパスで機械系の勉強をしながらサポートスタッフをしています。2年次生の秋に、友人に誘われて初めて本学の障がい学生支援制度に触れました。その後、学期中の隔週火曜日に開催される「ランチタイム手話」に参加したことがきっかけでサポートスタッフに登録しました。「ランチタイム手話」は普段の支援制度との関わりの有無に関係なく、集まって簡単な手話でコミュニケーションを取るイベントです。

そこから、実際に授業のサポートをする講座を受けて、今はスタッフ入門講座の講師や、オンデマンド授業の音声の文字起こし、視覚障がい学生用のテキストファイル文字校正などの活動をしています。講座は基本的には昼休みの開催で、サポートも自身の空きコマを利用できますので無理なく活動することができます。大学まで片道2時間かけて通っている私が保証しますのでぜひ気軽に窓口にお越しください。

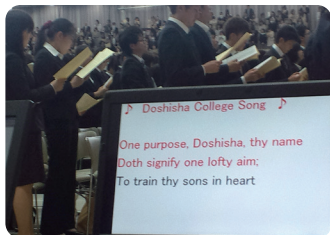
(生命医科学部3年次生) 行っているサポート活動：講座の講師、文字起こし、テキストファイル文字校正

障がい学生支援の一年

ようこそ、チャレンジド・ラーニングの世界へ

※コロナ禍の状況に応じてオンライン開催に変更されたり、行事が中止になることがあります。

- 春学期始め・入学式
- オリエンテーション



▲入学式

- 春学期末試験

- 秋学期始め



▲Challengedキャンプ

- クリスマス燭火讃美礼拝



▲クリスマス燭火讃美礼拝

- 秋学期末試験

- 卒業式

4

5

6

7

8

9

10

11

12

1

2

3

- 春学期前面談
- 障がい学生支援説明会および入門講座
- 春学期登録会および利用学生・サポートスタッフ顔合わせ会
- ランチタイム手話（春学期、4～7月）
- 新入生歓迎会
- 教職員研修会
- フォローアップ勉強会（春学期、5～7月）
- 春学期中間懇談会*



▲オリエンテーション

- 春学期末懇談会*
- オープンキャンパス



▲ランチタイム手話

- Challengedキャンプ*

- 複合領域科目（秋学期）
『ダイバーシティ社会における「支え合い」を考える』

- 秋学期前面談
- 秋学期登録会および利用学生・サポートスタッフ顔合わせ会
- インテーク面談（キャリアセンター）
- ランチタイム手話（秋学期、10～1月）
- フォローアップ勉強会（秋学期、10～12月）
- 秋学期中間懇談会*
- 障がい学生対象就職ガイダンス（キャリアセンター）
- クリスマス燭火讃美礼拝手話通訳（京田辺校地）
- クリスマスキャンドルライトサービス手話通訳（今出川校地）

- 秋学期末懇談会*
懇親会



▲秋学期末懇談会

- 新学期準備集中講座

※学期中間・末懇談会とは：「障がい学生」「サポートスタッフ」「他関係者」が一堂に会し、現場の声を出し合って支援の充実を図る目的で毎学期の中間時期と学期末に開催しています。

※Challengedキャンプとは：一人ひとりの障がい体験を通じた各種障がいへの理解と自分自身の心のバリアと向き合うことにより心身ともに成長することを目的としたキャンプです。そこでの学びを今後の社会生活に広く活かすことを目指しています。

メンタルヘルスに関する支援について

カウンセリングセンターでは、授業や対人関係など大学生活に関すること、自分の性格や将来のこと、家族や友人のことなど、さまざまな問題について相談を受けています。相談を通して問題を一緒に整理し、自分自身のことを理解したり、自分に合った対処方法を考えたりすることをサポートしています。必要に応じて、学内の他部署や学外の機関を紹介することもできます。もちろん、個人の秘密は厳守されるため、安心して相談してください。

カウンセリングセンター相談内容の例

- ・大学生活になじめない。
- ・ストレスから眠れない、食欲がない。
- ・留学中で、ホームシックにかかっている。
- ・対人関係（友達、部活、サークル等）で悩んでいる。
- ・家族関係のことを相談したい。
- ・進路や将来のことを、どうしようか迷っている。
- ・就職活動について悩んでいる。
- ・性に関することで悩んでいる。
- ・発達障がいではないかと心配だ。
- ・履修登録の仕方が分からない。
- ・スケジュール管理ができず、授業に遅刻したり課題を提出できなかったりする。
- ・オンライン形式の授業に参加しにくい。（Webカメラに自身が映ることに不安や緊張を感じる、メールでの先生への質問の仕方が分からず諦めてしまうなど）。
- ・真面目に授業に出席しているのに、単位がとれない。
- ・授業を聞く、理解する、板書する、を同時にするのが難しい。
- ・グループワークや発表、指名されることに不安や緊張を感じる。
- ・周囲の物音に過敏になり、試験に集中できない。
- ・体調や気分が波があり、授業に遅刻・欠席したり途中退室したりする不安がある。

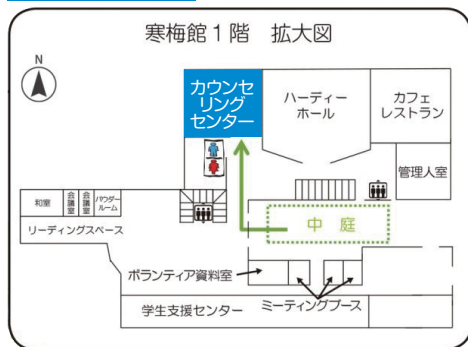


具体的なサポート

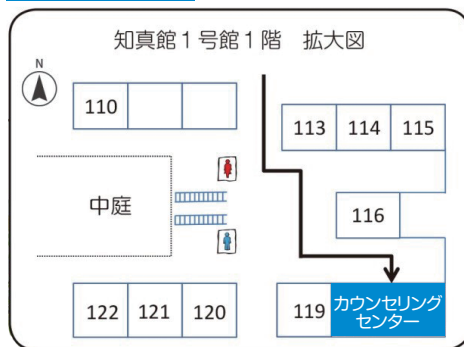
発達障がいの特性や精神疾患の症状による修学における困りごとについては、スケジュール管理や課題の計画・整理など、具体的なサポートを受けることもできます。

必要に応じて、具体的な配慮内容についての相談、他機関・部署の案内や連携も行っています。

今出川校地



京田辺校地



キャリア形成・就職支援について

キャリアセンターでは、就職活動の支援だけでなく、学生生活を有意義に過ごし、そこから人生を考えてもらえるよう、職業観醸成を目的として、早期の段階からさまざまなプログラムを実施しています。すべての学生が、建学の精神である「良心を手腕に社会で活躍する人材」となってもらえるよう、創立者である新島の「人ひとりを大切に」という言葉を胸に、個別の相談を通じて、学生の個性を重視したサポートを実施します。

個別相談

低年次から将来の進路について、相談を受けています。

経験豊富なスタッフをキャリアセンターに配置しておりますので、電話又はメールにてご連絡ください。支援室、カウンセリングセンターを通して連絡することも可能です。

キャリア形成支援

- ① キャリア体感プログラム
- ② キャリア発見セミナー
- ③ インターンシップ

就職支援

- ① 就職関連ガイダンスの実施
- ② 各種セミナーの実施
- ③ 就職相談
- ④ 各種情報（学外・学内）の提供

キャリアセンター主催のセミナーなどの情報は、キャリアセンターHP、e-career、掲示板などに掲載しています。

また、参加にあたってサポートが必要な場合は、事前にキャリアセンターまで相談してください。ただし、内容によってはサポートできない場合もあります。

■ e-career

<https://e-career.doshisha.ac.jp/>



■ キャリアセンターHP

<https://career-center.doshisha.ac.jp/>



キャリアセンターで行うプログラム

学年	1年次			2年次			3年次			4年次		
	春学期	夏休み	秋学期	春学期	夏休み	秋学期	春学期	夏休み	秋学期	春学期	夏休み	秋学期
プログラム		キャリア体感プログラム	キャリア発見セミナー		キャリア体感プログラム	キャリア発見セミナー		キャリア体感プログラム	仕事研究、自己分析、ES・面接対策など 障がい学生対象 「就職ガイダンス」			
面談	進路等に関するヒアリングを経て、障がい学生担当職員が個別相談											
			インターク面談 (希望者のみ)			インターク面談 (希望者のみ)				インターク面談 (必須)		

キャリアセンター（今出川校地）

TEL. (075) 251-3310 FAX. (075) 251-3067

career-support@mail.doshisha.ac.jp

室町キャンパス 寒梅館2階

キャリアセンター（京田辺校地）

TEL. (0774) 65-7016 FAX. (0774) 65-7017

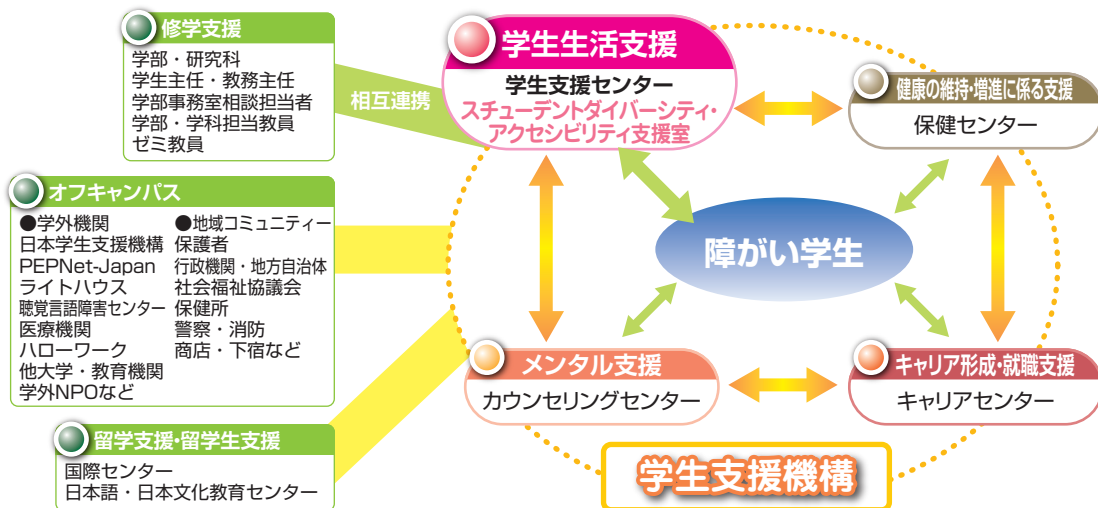
career-support@mail.doshisha.ac.jp

副業館1階

障がい学生支援体制

学生支援機構の4つのセンター（学生支援、保健、カウンセリング、キャリア）で連携し、情報の共有を図りながら、個々の状況に応じた支援を実施しています。

また、学生が所属する学部・研究科との連携も図り、より効果的な支援を実施します。さらに、障がい学生支援室では障がい者支援を目的にした、公的な機関や地域との連携、情報共有を図ります。



キリスト教文化センター オープン・プログラム

京田辺校地・キリスト教文化センター Tel : 0774-65-7370 E-mail : jt-kirib@mail.doshisha.ac.jp

通年 点訳入門編・手話入門

今出川校地・キリスト教文化センター Tel : 075-251-3320 E-mail : ji-kirib@mail.doshisha.ac.jp

通年 点訳入門編・点訳応用編

手話で楽しくコミュニケーション入門ー・手話で楽しくコミュニケーションー応用ー

オープン・プログラムでは多様なジャンルの講座を行っています。

開講講座の詳細（プログラム内容、申し込み方法など）については、キリスト教文化センターHPをご確認ください。 ※状況により変更する場合があります。

<http://www.christian-center.jp/openprogram/>

複合領域科目のご案内

（登録日程など詳細は「履修要項・登録要領・シラバス」をご覧ください）

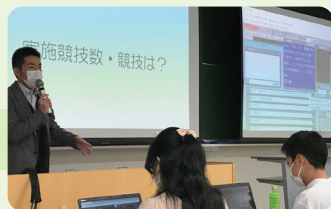
科目名 ダイバーシティ社会における「支え合い」を考える

概要

障がい者、学生自身およびそれぞれを取り巻く人と環境を包括的に捉えることにより、多様性が尊重される現代社会において実現すべき「支える」「支えられる」関係、すなわち「支え合い」の持つ意味と課題を考える。同時に、本学が標榜する「人ひとりは大切なり」の理解にもアプローチする。

時間 秋学期 月曜 6 講時

場所 同志社大学 今出川校地



2016年4月1日に障害者差別解消法が施行されました

●障害者差別解消法って知っていますか？

この法律は、障害のある人もない人も互いにその人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることを目指しています。

(注) 正式名称は「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」です。

この法律では「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。

そのことによって、障害のある人もない人も共に暮らせる社会を目指しています。

●対象となる「障害者」は？

この法律に書いてある「障害者」とは、障害者手帳をもっている人のことだけではありません。

身体障害のある人、知的障害のある人、精神障害のある人（発達障害のある人も含む。）、その他の心や体のはたらきに障害がある人で、障害や社会の中にあるバリアによって、日常生活や社会生活に相当な制限を受けている人すべてが対象です。

●「不当な差別的取扱いの禁止」とは？

この法律では、国・都道府県・市町村などの役所や、会社やお店などの事業者（※大学も含みます）が、障害のある人に対して正当な理由なく、障害を理由として差別することを禁止しています。

これを「不当な差別的取扱いの禁止」といいます。

●「合理的配慮の提供」とは？

障害のある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。

この法律では、国・都道府県・市町村などの役所や、会社やお店などの事業者に対して、障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたとき（注）に、負担が重すぎない範囲で対応すること（事業者に対しては、対応に努めること）を求めています。

これを「合理的配慮の提供」といいます。

注：言語（手話を含む。）、点字、拡大文字、筆談、実物を示すことや身振りなどのサインによる合図、触覚など様々な手段により意思が伝えられることをいいます。通訳や障害のある人の家族、支援者、介助者、法定代理人など、障害のある人のコミュニケーションを支援する人のサポートにより本人の意思が伝えられることも含まれます。

内閣府「障害者差別解消法がスタートします！」リーフレットより抜粋

京田辺校地



今出川校地



入学式の手話通訳とPC通訳について

聴覚に障がいのある学生・ご家族のため、**入学式では手話通訳とPC通訳**を実施しています。また、視覚に障がいのある学生・ご家族のために、ご希望があれば**点字の式次第**を準備いたしますので、3月上旬までに支援室までご連絡ください。



～障がい学生支援に関する申込み・問い合わせ先～

学生支援センター スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室

Office of Student Disability Services
公式HP <https://challenged.doshisha.ac.jp/>

支援室では専属のコーディネーターが常駐しており、障がいのある学生の修学支援を行っています。お気軽にお越しください。

■京田辺校地 成心館 1階

〒610-0394 京田辺市多々羅都谷 1-3
Tel 0774-65-7411 / Fax 0774-65-7024
E-mail : do-care-stt@mail.doshisha.ac.jp

■今出川校地 室町キャンパス 寒梅館 1階

〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103
Tel 075-251-3273 / Fax 075-251-3099
E-mail : do-care-sti@mail.doshisha.ac.jp

■今出川校地 今出川キャンパス 待辰館 1階

Tel 075-251-3261 / Fax 075-251-3299

■開室時間 月曜日～金曜日（祝日授業日を含む） 9:00～17:00

〔11:30～12:30 閉室 ただし緊急の場合は対応します。〕
開室時間が変更になる場合があります。変更情報はHPに掲載します。〕